

浸水被害軽減シートを開発

四日市のサンリヨウラップのように建物周囲包む

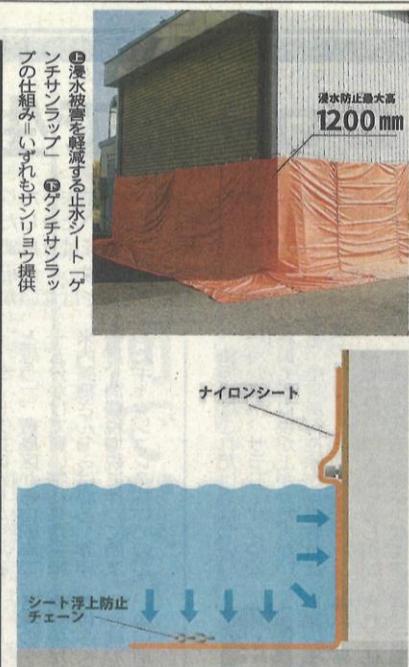
集中豪雨や台風による浸水被害が発生しやすいこれ

かの時期を前に、四日市市野田の業務機器開発販売会社「サンリヨウ」が、浸水被害を軽減する止水シート「ゲンチサンラップ」を開発した。ラップのよう建物の周囲を包み、広範囲で建物ごと守ることができる。

(梅田成晴)

止水高は一・二㍍。建物の角に当たる部分の専用シート(幅一・四㍍、縦一・三㍍)、壁面に使用する直壁用シートW(同)やS(幅一・二㍍、縦二・三㍍)を複数枚使い、それぞれをファスナーでつないで建物周囲に巡らせる。水の自重や水圧でシートが地面と構造物に固定され、密着

する仕組み。シートつり金具、浮上防雪チェーン、排水ポンプなども付いている。浸水防止対策で使われる土のうに比べて軽量で、外周四十㍍分のシートの重さは十キロ程度。保管も容易で、乾かすだけで再利用もできるという。価格は建物の大きさや形状によって異なるが、例



ゴミ袋で簡易水のうを作る
玄関等の前に隙間なく詰めると浸水を軽減できる。
ダンボール箱に入れると強度が増す。

プランターとレジャーシートによる止水
土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み、玄関の止水に使用することもできる。

水のうと板による簡易止水板
玄関等の出入口を長めの板などで塞ぎ、水のうで固定すると浸水を軽減できる。

ポリタンクとレジャーシートによる止水
10~20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み遮蔽して、玄関の止水に使用することもできる。

えば一戸建ての場合には七十万~八十万円かかる。近年雨の降り方が強まっている傾向があり、毎年のように全国各地で浸水被害が出ている。会社の資材や備品などを保管する倉庫や建物を守る狙いから開発

を進めてきた。同社担当者は「雨が降る時期なので被害軽減の備えとして活用を考えてもうれば」と話す。

(魔法)
〔サンリヨウ〕059-3332-31022(平日)
市ホームページで紹介する水のうやレジャーシートを活用した止水方法



やつぱりおいしい
エライス

ひざかんうた

「あとの匂い?」
アベノマスク届いたよ。
貸して貸して安倍さんの匂いするかな?
しみず。そうま(2)いなべ市大

子(3)安町梅戸、父・清水隆弘
うえむら・たかし(1)北口町、母・上村洋子

玄関先止水方法を市HPで紹介

119 (高島碧)

豪雨災害に備えてもうおうどんを購入してしまった。玄関の前に段ボールに入れて並べた

ホーメージでは、ビニール袋に水を入れた水のうを活用し、玄関の前に段ボールに入れて並べたり、板を固定したりして水の浸入を防ぐ。他にも家庭にある土の入ったプランターやポリタンクをレジャーシートで巻いて連結させて、玄関前に並べる方法も紹介する。

ブルーシートの貸し出し対象は二百五十件。海側の市東部だけでなく、日永や大山田、下野地区でも住宅の浸水が発生した。シートは市庁舎で渡し、一世帯三枚限り。期間は十一月末まで。

市危機管理室の担当者は「周辺の道路より低いだけで水は集中して流れ込んでくる。平時であれば、家庭でできる止水方法の相談も受け付けるので、早めの対策をしてほしい」と話している。(市危機管理室)=059-(354)8